

事業統合事例① 中空知広域水道企業団	
事業規模等	給水人口 : 68,124 人 1日最大給水量 : 23,632 m <sup>3</sup> /日 給水面積 : 138.83 km <sup>2</sup> 職員数 : 【直営】 21 人 【第三者委託】 0 人 【委託】 15 人
スキーム等	【事業統合】 
経緯	<ul style="list-style-type: none"> <li>○昭和58年4月 : 中空知広域水道企業団設立(水道用水供給事業認可取得、構成団体:滝川市、砂川市、歌志内市)</li> <li>○平成17年3月 : 奈井江町より企業団への参画要請を機に水道企業団の用水供給事業と3市1町の水道事業統合検討開始</li> <li>○平成17年6~7月 : 第1回末端給水化検討委員会開催</li> <li>○平成18年4月 : 水道事業認可</li> <li>○平成21年度「地域水道ビジョン」策定</li> </ul>
広域連携(事業統合)のメリット	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人材及び技術力の確保</li> <li>・ 日常の施設管理水準の向上 [各施設の点検業務の一括発注により、維持管理費の削減が図られた]</li> <li>・ 中長期的な管理水準の向上 [管路更新計画、施設更新計画及び漏水防止計画の策定]</li> <li>・ 施設の共同化 [集中監視設備が集約できた]</li> <li>・ 災害対応、危機管理能力の向上 [危機管理マニュアルの整備・策定開始]</li> </ul>
広域連携(事業統合)のデメリット	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 水道料金(地域間格差の存在)⇒料金体系の平準化に向け検討予定</li> </ul>
業務手法(公民連携等)	公営を基本 + ②業務委託(個別・仕様発注) 民間委託(電気点検、浄水場運転管理、施設清掃、窓口業務、他)
対象業務(維持管理体制)	
浄水施設維持管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 浄水場運転管理ほか業務委託 (株)ウォーターエージェンシー北海道管理所、複数年契約※3</li> <li>※3 契約情報によるとH28年度は委託契約がなく、H29年度はあるため単年度契約でないと判断した。</li> </ul>